

中村設計新聞



舞鶴へは
特急まいづる号で！

○東舞鶴駅出発

～スケジュール～

- 舞鶴赤レンガパーク到着！
- 京都駅集合・出発
- 海軍ゆかりの港めぐり遊覧船
- 赤れんが博物館見学
- 2号館Cafe jazzにて昼食
- 舞鶴赤レンガパーク

日本海に面する京都府北部地域は、古代より大陸との交流の窓口として栄え、日本の国生み神話の重要な舞台となつた、いわば「もうひとつの京都」である。今月の土曜研修では、大戦時軍港として発展した近代の遺産が残る舞鶴の赤レンガパークに行き、赤レンガのエキゾチックな建物の見学や海軍ゆかりの港巡りをしました。知識教養を深めつつ、気分をリフレッシュし、所員の親睦を深めました。

○はじめに



金世桓

5月の土曜研修は、京都府北部の舞鶴市にある赤煉瓦倉庫群に行きました。天気に恵まれ、私にとっては中村設計に入社して初めての行事であり、初めて訪れる場所となりました。

第四十二号

五月十七日(土)晴

空模様が心配でしたが、すつきり晴れ渡り古いものと最近のものが、同居する風景を満喫しました。

○研修レポート

私は、韓国で兵役の経験があり、当時は陸軍に所属していたのですが、なかつた軍艦は実際に見たことが、なかつたのです。軍艦や世界に誇る日本のイージス艦を身近に見れたのは自分として新鮮な体験でした。また、遊覧船でのガイドの分かり易い説明で海軍の基地がどのように立つていい役割を果たしているかを聞いて楽しめたです。その次に行つた赤レンガパークでは、日本の明治時代と大正時代の様式が違うことが発見できました。博物館では、レンガに関する歴史やつくり方など、今まで知らなかつたレンガの知識を得ることが出来いい勉強になりました。

舞鶴市内には、多くの赤レンガの建造物が残っています。日本有数の赤レンガのまちと言われているそうです。普段、あまり馴染みのないレンガという建築材料を実際に見て、触ることでできました。

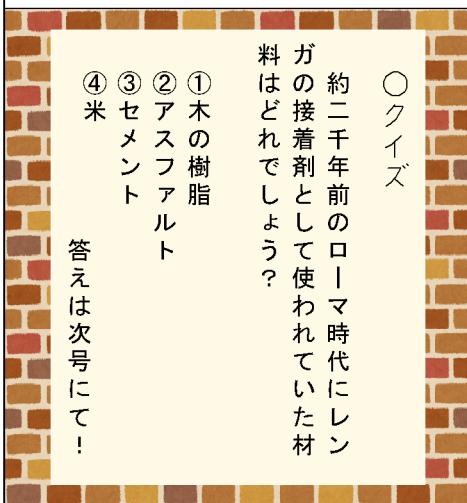


○研修レポート

5月の土曜研修は、京都府北部の舞鶴市にある赤煉瓦倉庫群に行きました。天気に恵まれ、私にとっては中村設計に入社して初めての行事であり、初めて訪れる場所となりました。

舞鶴市内には、多くの赤レンガの建造物が残っています。日本有数の赤レンガのまちと言われているそうです。普段、あまり馴染みのないレンガといふ建築材料を実際に見て、触ることでできました。

中村 友紀



○クイズ
約二千年前のローマ時代にレンガの接着剤として使われていた材料はどれでしょう？

- ①木の樹脂
- ②アスファルト
- ③セメント
- ④米

答えは次号にて！



「中村設計」は本社を京都市下京区に構え、京丹後市に京都都設計室を開設しています。今回の研修で初めて舞鶴を訪れる社員もあり、京都を知る良い機会となりました。同じ京都でも、京都市内と北部では気候や風土が異なり、文化や歴史の違いを感じることができます。知識を深めつつリフレッシュでき、今後も継続して京都をテーマとした研修を行いたいと思います。

○まとめ